

# 安全装備

## シート

シート	.....	5- 2
シートアレンジ	.....	5- 3
シート調整	.....	5- 4
フロントシート	.....	5- 4
ヘッドレスト	.....	5- 6
荷室の作り方	.....	5- 7
フラットシートの作り方	.....	5- 11

5

## シートベルト

シートベルト	.....	5- 12
前席プリテンショナー／前席ロードリミッター付シートベルト	.....	5- 15

## チャイルドシート

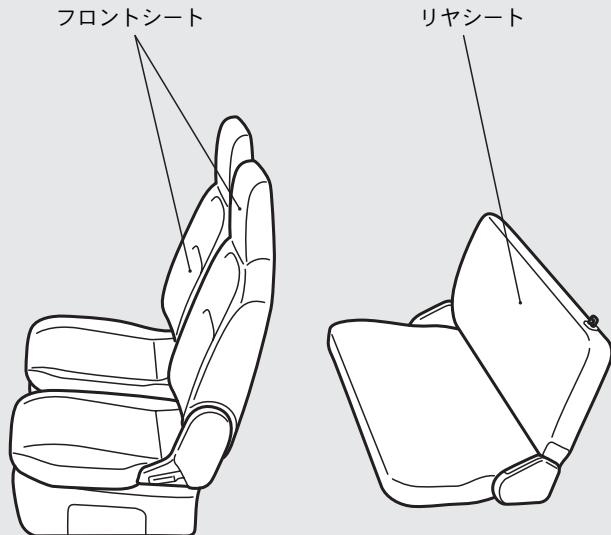
チャイルドシート	.....	5- 16
----------	-------	-------

## SRSエアバッグ

SRSエアバッグ	.....	5- 21
----------	-------	-------

## シート

J00509901101



AAN000789

### フロントシート

- 前後調整（運転席）P. 5-5
- 背もたれの角度調整 P. 5-5
- 背もたれの前倒し（助手席） タイプ別装備  
P. 5-6

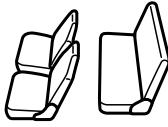
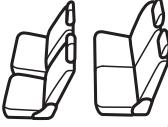
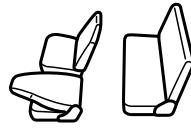
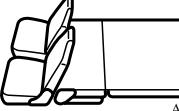
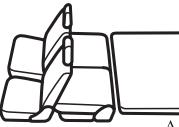
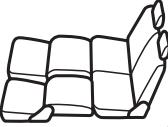
### リヤシート タイプ別装備

- 折りたたむときはP. 5-8

## シートアレンジ

J00500100565

好みに合わせて、つぎのようなシートアレンジをすることができます。

	リヤベンチシート 付き車	リヤスプリットシート 付き車
通常の使い方	 AAM000871	 AAM008443
背もたれの前倒し (助手席) →P. 5-6	 AAM000984	—
荷室の作り方 →P. 5-7	 AAM000997	 AAM008456
フラットシート →P. 5-11	—	 AAM008469

## シート調整

J00500200351

シート各部の調整は走行前に行ってください。

### △警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあります、重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をしたあとは、シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き、重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体がシートベルトの下にもぐり、重大な傷害を受けるおそれがあります。

### △注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは、シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

## フロントシート

J00500300743

正しい運転姿勢がとれるように、つぎの点に注意してシートを調整してください。

ヘッドレスト付き車は  
ヘッドレストの中央部を  
できるだけ耳の高さにする



AAE000089

### △警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。  
正しい運転姿勢がとれないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### △注意

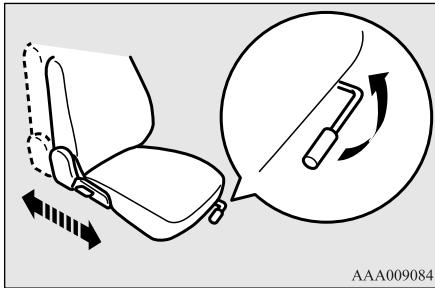
- 後方ヘシートを移動したり、背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

## 前後調整（運転席）

J00500400089

レバーを引いたまま調整します。

調整後はシートを前後に軽くゆすり、シートが確実に固定されたことを確認します。

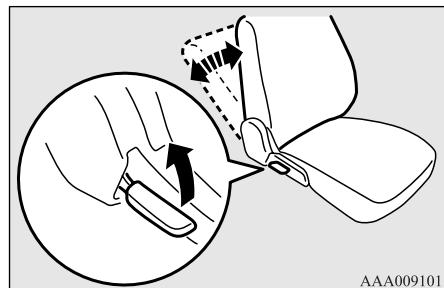


## 背もたれの角度調整

J00500500080

レバーを引いたまま調整します。

調整後は背もたれを軽くゆすり、背もたれが確実に固定されたことを確認します。



## △注意

- レバーを操作するときは、背もたれに身体を添わせるか、手を添えて行ってください。  
背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

## 背もたれの前倒し（助手席）

タイプ別装備

J00509600055

助手席シートの背もたれを前倒しすることにより、大きな荷物を積むことができます。

## △警告

- 背もたれを前倒しにした状態で人を乗せて走行しないでください。  
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

5

## ヘッドレスト

タイプ別装備

J00503400729

## △警告

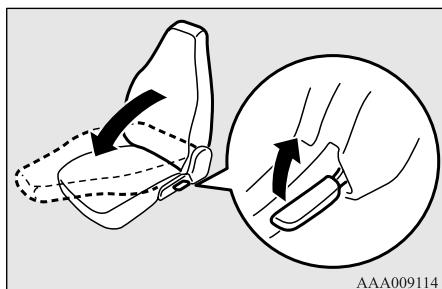
- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。  
万一のとき安全確保に役立ちません。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れると安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

## △注意

- レバーを操作するときは、背もたれに手を添えて行ってください。背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

## ◆ 倒すときは

レバーを引いたまま背もたれを前へ倒します。



## ◆ 戻すときは

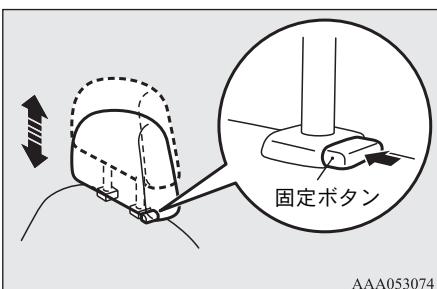
背もたれを確実にロックするまで起こします。戻したあとは、背もたれが確実に固定されていることを確認します。

## 上下調整

ヘッドレストの中央部ができるだけ耳の高さになるように調整します。

耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は、固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



## 取り外すときは

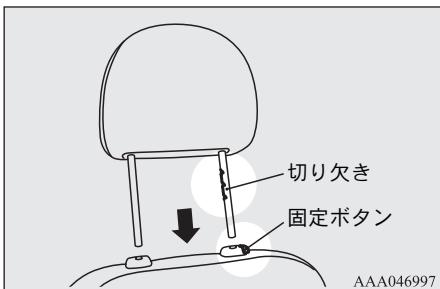
J00508900080

固定ボタンを押したまま、いっぱいに引き上げて取り外します。

## 取り付けるときは

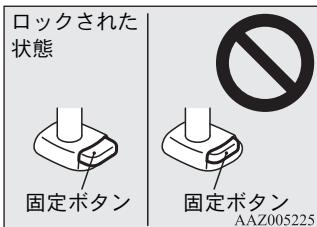
J00509000411

切り欠きのあるヘッドレストステーが、固定ボタン側になるように取り付け、固定ボタンを押しながら差し込みます。



### ⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けたあと、固定ボタンがロックされていることを確認してください。



- 前後の向きを間違えて取り付けると、ヘッドレストが固定されません。



## 荷室の作り方

タイプ別装備

J00503500081

リヤシートを折りたたむことにより、大きな荷物を積むことができます。

### ⚠ 警告

- 荷室を作るときは必ず走行前に行ってください。走行中にシートを操作すると必要以上に動くことがあり、重大な事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり、または元に戻したときは、シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き、重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり、お子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ⚠ 注意

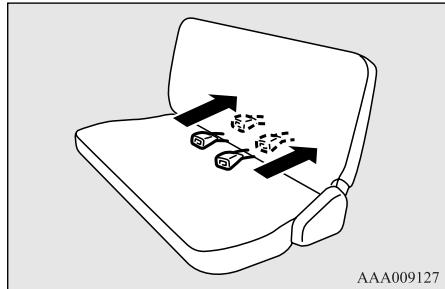
- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また、荷物は確実に固定してください。後方の確認ができなくなったり、急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは、手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

## 折りたたむときは

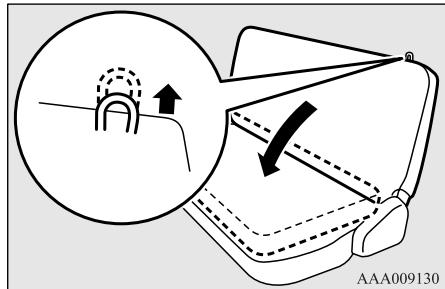
J00507600338

### ◆ ベンチシート

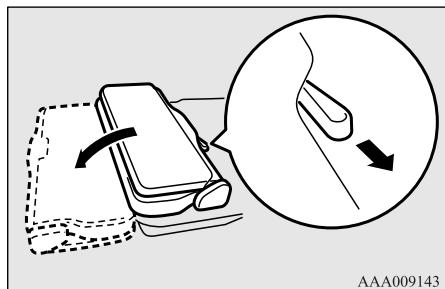
- シートベルトのバックルを荷室側へ押し出します。



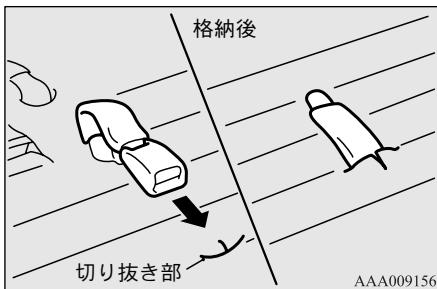
- ノブを引き上げたまま、背もたれを前へ倒します。



- シート後方のバンドを引いてロックを外し、シート全体を前方へ倒します。

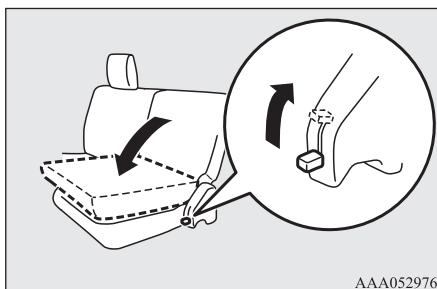


- シートベルトのバックルをフロアの切り抜き部に格納します。

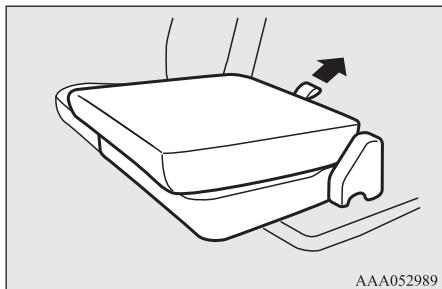


### ◆ スプリットシート

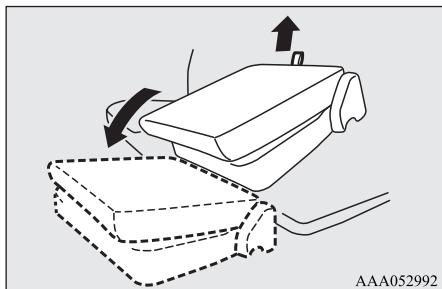
- シートベルトのバックルを格納します。  
→「リヤシートベルトの格納のしかた」P. 5-14
- ヘッドレストを取り外します。  
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-6
- 折りたたみ側のレバーを引き上げたまま、背もたれを前へ倒します。



4. シート後方のバンドを引いてロックを外します。



5. バンドを引き上げ、シート後方を持ち上げてシート全体を前方へ移動します。

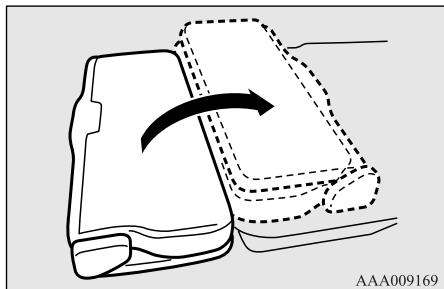


## 戻すときは

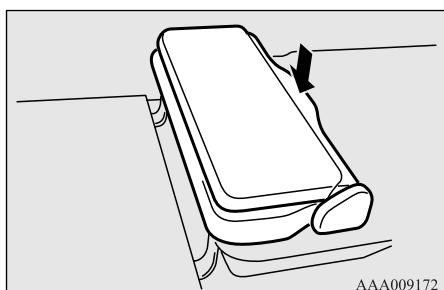
J00507700267

### ◆ ベンチシート

1. シート全体を後方へ起こします。

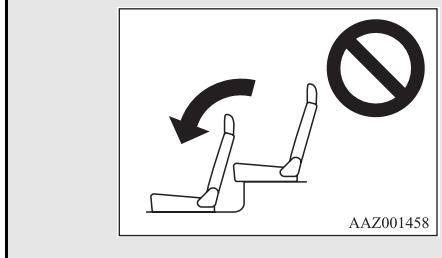


2. シート後部をカチッと音がするまで押し付けるか、またはシートを少し持ち上げた位置（約 30cm）から離し確実に固定します。



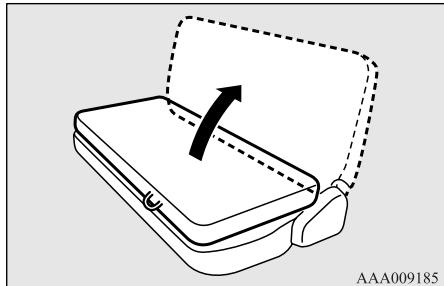
### △警告

- 背もたれを立てたまま前方へ移動した状態で人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときなど重大な傷害を受けるおそれがあります。

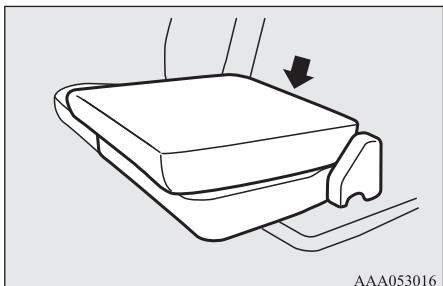


## 安全装備

3. ノブを引き、背もたれを確実にロックするまで起こします。

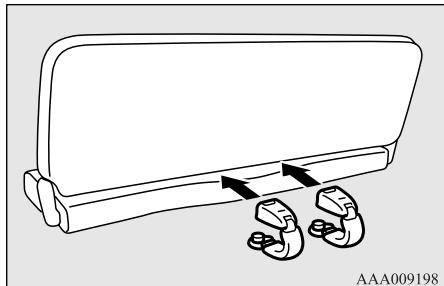


2. シート後部をカチッと音がするまで押し付け、確実に固定します。



5

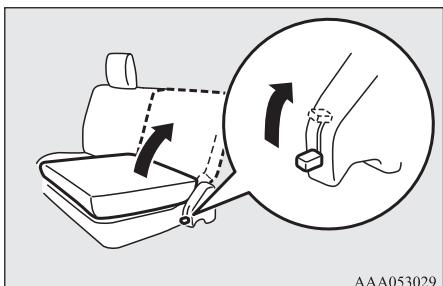
4. 背もたれとクッションの間を通してシートベルトのバックルを元の位置に戻します。



AAA009198

5. 操作後はシートを軽くゆすり、シートが確実に固定されたことを確認します。

3. レバーを引き上げ、背もたれをカチッと音がするまで起こします。



AAA053029

4. 操作後はシートを軽くゆすり、シートが確実に固定されたことを確認します。

5. ヘッドレストを取り付けます。  
→「ヘッドレスト：取り付けるときは」  
P. 5-7

### ◆ スプリットシート

1. カバーの取っ手部を持ち上げてシート全体を後方へ移動します。



AAA053003

## フラットシートの作り方

タイプ別装備

J00504500512

シートを倒して大きな空間を作ることができます。

### △警告

- フラットにした状態で人や荷物を乗せて走行しないでください。  
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害を受けたり、荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

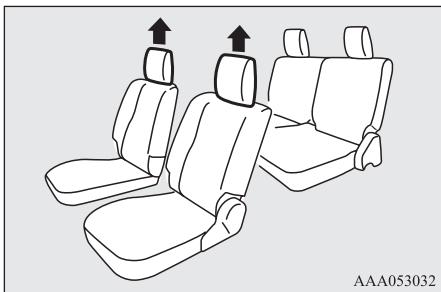
### △注意

- フラットにするときは、必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。
- フラットにする操作は必ず大人が行ってください。  
お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを移動するときは、手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- 背もたれを元に戻すときは、背もたれに身体を添わせるか、手を添えて操作してください。背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。
- フラットにしたときは、シートの上を歩き回らないでください。シートから足を踏み外すと危険です。必ずシートの中央を踏んで、ゆっくり移動してください。

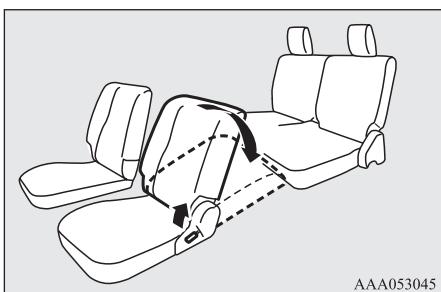
### アドバイス

- フラットにしたときは、背もたれ上部に飛び乗ったり、強い衝撃を与えないでください。シートが損傷することがあります。

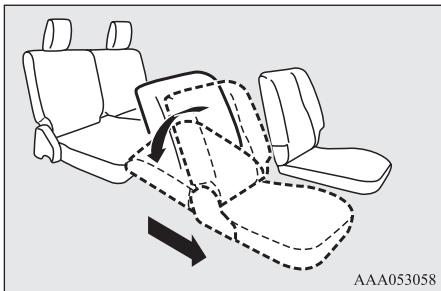
1. フロントシートのヘッドレストを取り外します。  
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-6



2. レバーを引き上げたまま、助手席シートの背もたれを倒します。



3. 運転席シートは助手席シートと同じ位置に調整し、背もたれを倒します。  
→「前後調整（運転席）」P. 5-5  
これでフラットシートの完成です。  
元に戻すときは逆の手順で行います。



## シートベルト

J00505100498

シートベルトは万一の場合、運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法、注意を守り、運転する前に必ず着用してください。



AAE000092

5

## △警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体がシートベルトの下にもぐり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず、車外に投げ出されたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-4
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

## △警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで、肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働くはず、重大な傷害を受けるおそれがあります。



AAZ000116

## △警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので、医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。  
妊娠中の方は、腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり、金具部などが正常に動かなくなったりしたときは、シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず、性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一、事故にあって、シートベルトに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も日産販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり、性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は日産販売会社へご相談ください。
- パックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け、取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白、染色は絶対にしないでください。  
シートベルトの性能が落ち、十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

## ELR(緊急固定)付3点式シートベルト

J00505200297

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃を受けたときは、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

### アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより、ベルトがロックするか確認できます。

5

## ◆ 着用するときは

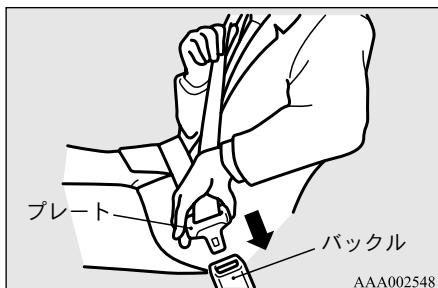
J00507800297

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

### アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていなか確認したあと、プレートをパックルにカチッと音がするまではめ込みます。



AAA002548

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、ベルトを引いて腰部に密着させます。



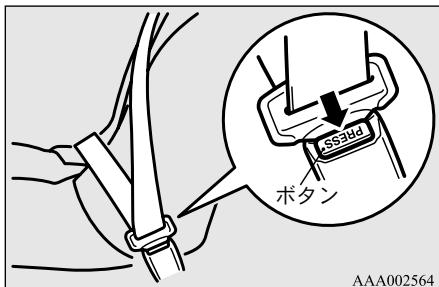
AAA002551

5

## ◆ 外すときは

J00507900328  
プレートを持ってバックルのボタンを押します。

ベルトは自動的に巻き取られますので、プレートに手を添えて、ゆっくり戻してください。



AAA002564

## △警告

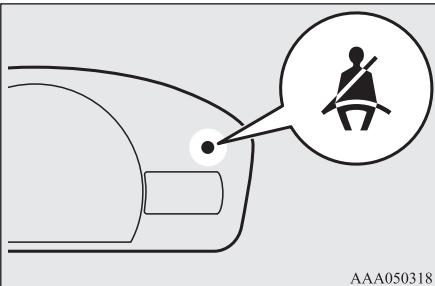
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。  
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。  
万一、シートベルトが外せなくなったりしたときは、はさみなどでベルトを切断してください。

## ◆ シートベルト警告灯

J00509700681

エンジンスイッチが ON で運転席のシートベルトを着用していないと点灯し、運転者にシートベルトの着用をうながします。

シートベルトを着用すると消灯します。



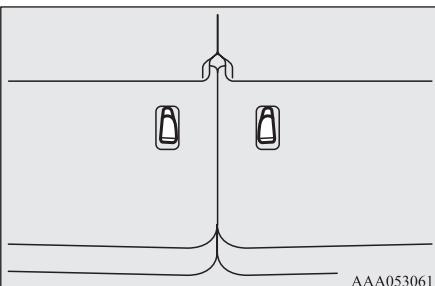
AAA050318

## リヤシートベルトの格納のしかた

J00505400215

## スプリットシート

シートベルトを使用しないときは図のように格納します。



AAA053061

## 前席プリテンショナー／前席ロードリミッター付シートベルト

J00505700771

前席プリテンショナーシートベルトは、運転席および助手席に装備されています。

### 前席プリテンショナー

J00512800107

前席プリテンショナーシートベルトは、エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに、シートベルトを瞬時に引き込み、シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

#### ⚠ 警告

- 前席プリテンショナーシートベルトの効果を十分に発揮させるため、つぎのことをお守りください。
  - ・シートを正しい位置に調整してください。  
→「フロントシート」P. 5-4
  - ・シートベルトを正しく着用してください。  
→「シートベルト」P. 5-12

#### ⚠ 注意

- 前席プリテンショナーシートベルトやフロアコンソール付近の修理、カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナーに影響をおよぼすことがありますので、日産販売会社にご相談ください。
- 廃車するときは日産販売会社へご相談ください。前席プリテンショナーシートベルトが思いがけなく作動し、けがをすることがあります。

### アドバイス

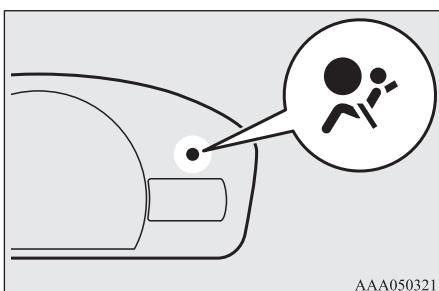
- 前席プリテンショナーシートベルトはシートベルトを装着していないなくても、前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- 前席プリテンショナーシートベルトは一度作動すると再使用できません。  
日産販売会社で運転席、助手席側を同時に交換してください。

### SRS エアバッグ／前席プリテンショナー警告灯

J00510000323

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。また、SRS エアバッグおよび前席プリテンショナーが作動すると、点灯したままとなります。

SRS エアバッグ警告灯は前席プリテンショナー警告灯と兼用しています。



AAA050321

#### ⚠ 注意

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。  
衝突したときなどにSRSエアバッグおよび前席プリテンショナーシートベルトが正常に作動せぬがをするおそれがありますので日産販売会社で点検を受けてください。
  - ・エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない、または点灯したまま・走行中に警告灯が点灯する

### 前席ロードリミッター

J00510100047

衝突時に、シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し、乗員への衝撃をやわらげる装置です。

5

### チャイルドシート

J00506001071

乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

#### ⚠ 警告

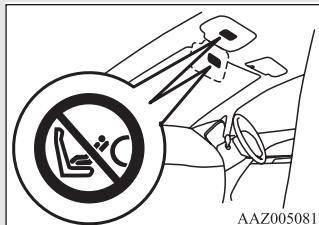
- シートベルトは大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首、あご、顔などに当たる場合や、腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートは後席に取り付けてください。

## △警告

- 助手席に乳児用チャイルドシートなど後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。  
また、前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。  
助手席 SRS エアバッグが膨らむとき、強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられて命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ターボ付き車は、助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが、サンバイザーに貼り付けてあります。



- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は、必ず前向きのチャイルドシートを取り付けてください。

## シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表（シートベルト使用による取り付け）

J00506200702

以下の表から、装着位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

質量グループ (お子さまの体重)		リヤベンチシート 付き車		リヤスプリットシート 付き車	
		助手席	リヤシート 左右席	助手席	リヤシート 左右席
0	10kgまで	X	U	X	X
0+	13kgまで	X	U	X	L <sup>*1</sup>
I	9~18kg	UF, L <sup>*2</sup>	U, L <sup>*2</sup>	UF, L <sup>*2</sup>	L <sup>*2</sup>
II	15~25kg	UF, L <sup>*3</sup>	U, L <sup>*3</sup>	UF, L <sup>*3</sup>	L <sup>*3</sup>
III	22~36kg	UF, L <sup>*3</sup>	U, L <sup>*3</sup>	UF, L <sup>*3</sup>	L <sup>*3</sup>

### △ 注意

- チャイルドシートを取り付けるときに、ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は、ヘッドレストを取り外すか、高さを調整してください。

### 記号の説明

- U: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- UF: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

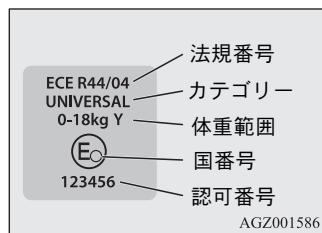
### 日産純正チャイルドシート

ご購入、ご使用に関しては日産販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
L <sup>*1</sup>	H8000 M9900	E1-04301146
L <sup>*2</sup>	H8000 M9901	E1-04301133
L <sup>*3</sup>	H8000 M9902	E1-04301169

 アドバイス

- ECE-R44に適合したチャイルドシートには、つぎの認可マークが表示されています。



## チャイルドシートの取り付け方

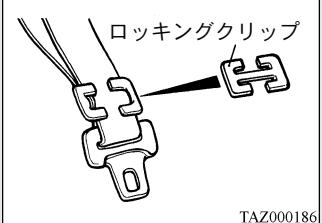
J00506500952

チャイルドシートを取り付けるときは、  
つぎの手順で確実に取り付けてください。

### ◆ 取り付けるときは

#### △警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。  
必ずチャイルドシートの取扱説明書に従って正しく取り付けてください。  
チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



TAZ000186

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書に従って、チャイルドシートをシートベルトで固定します。

#### △注意

- チャイルドシートを取り付けるときに、ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は、ヘッドレストを取り外すか、高さを調整してください。  
→「ヘッドレスト」P. 5-6

3. チャイルドシートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認します。

### ◆ 取り外すときは

プレートをバッклから外して、シートベルトをチャイルドシートから取り外します。

ベルトは自動的に巻き取られますので、  
プレートに手を添えて、ゆっくり戻してください。

## SRSエアバッグ

J00506601064

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

### 運転席、助手席 SRS エアバッグシステム

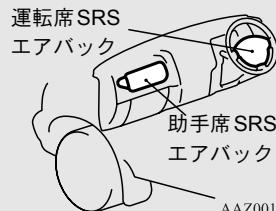
エンジンスイッチがONのときに、運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに、シートベルトの働きを補って、運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

### △警告

- SRSエアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。  
シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあります。その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかる重大な傷害を受けることがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき、シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRSエアバッグが作動しないときでも、シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し、背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。  
SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグが膨らむ際、エアバッグにより命にかかる重大な傷害を受けることがあります。
- SRSエアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだあと、高温になりますのでさわらないでください。やけどをすることがあります。

### △注意

- SRSエアバッグが収納されている部分に傷がついていたり、ひび割れがあるときは日産販売会社で点検を受けてください。  
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せすけがをするおそれがあります。



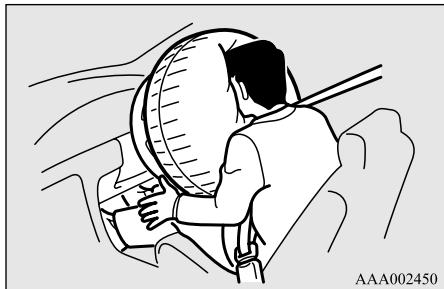
### △アドバイス

- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりけがや打撲などを受けることがあります。
- SRSエアバッグが膨らむときかなり大きな音がし、白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし、呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合、一時的にのどや皮膚に刺激を感じことがあります。また、残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。  
皮膚が弱い人の場合、まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしほるので視界を妨げません。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。日産販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより、前面ガラスが破損する場合があります。

## 運転席 SRS エアバッグシステム

J00506700387

運転席 SRS エアバッグはハンドルの中に装備されています。



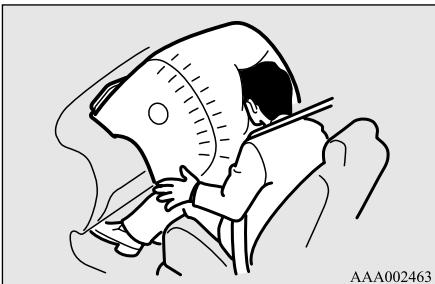
5

## 助手席 SRS エアバッグシステム

J00506801040

助手席 SRS エアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。

助手席 SRS エアバッグは同乗者がいなくとも運転席 SRS エアバッグと同時に作動します。



### ⚠ 警告

- ハンドルの交換や、パッド部にステッカーを貼ったり、カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。  
SRS エアバッグが膨らむ際、エアバッグにより命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ⚠ 警告

- インストルメントパネルの上に物を置いていたり、前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。  
また、インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

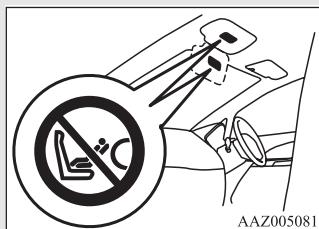


## ⚠️警告

- お子さまを乗せるときには、必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには、チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席に乳児用チャイルドシートなど後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。  
また、前後向とも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
- 助手席SRSエアバッグが膨らむとき、強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられて命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ターボ付き車は、助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが、サンバイザーに貼り付けてあります。



- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は、必ず前向きのチャイルドシートを取り付けてください。

**△警告**

- 助手席同乗者は、シートの前端に座ったり、インストルメントパネルに手や足を乗せたり、顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また、お子さまをインストルメントパネルの前に立てたり、ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、SRSエアバッグにより命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあります。



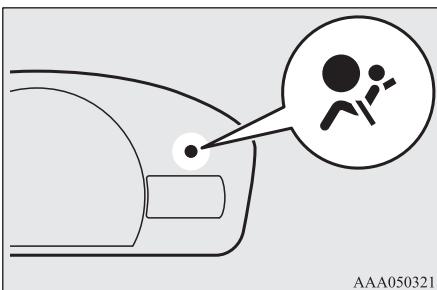
- 助手席同乗者は、かばんなどの荷物をひざの上にかかるなど、SRSエアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

**SRSエアバッグ／前席プリテンショナー警告灯**

J00507300944

正常なときはエンジンスイッチをONになると点灯し、数秒後に消灯します。また、SRSエアバッグおよび前席プリテンショナーが作動すると、点灯したままとなります。

SRSエアバッグ警告灯は前席プリテンショナー警告灯と兼用しています。

**△注意**

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。  
衝突したときなどにSRSエアバッグおよび前席プリテンショナーシートベルトが正常に作動せぬがをするおそれがありますので日産販売会社で点検を受けてください。
- エンジンスイッチをONにしても警告灯が点灯しない、または点灯したまま走行中に警告灯が点灯する

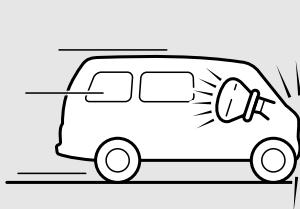
## 運転席・助手席SRSエアバッグシステムの作動条件

J00506900376

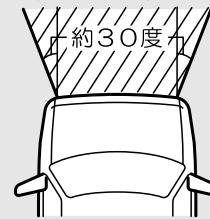
### ◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約25km/h以上の速度でコンクリートのような  
固い壁に正面から衝突したとき



車両の前方左右約30度以内の方向から  
強い衝撃(左記と同等)を受けたとき



AAJ001469

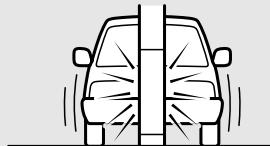
### アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく、衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形、移動するもの）に衝突した場合は、エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

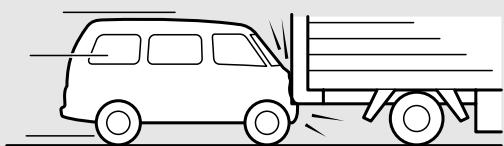
## ◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突したものとの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき

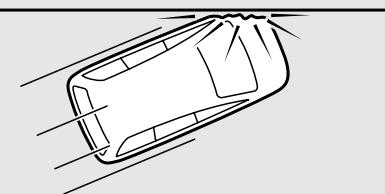


トラックなどの荷台へ潜り込んだとき



5

斜め前方から衝突したとき



AAL000206

## ◆ 作動しないとき

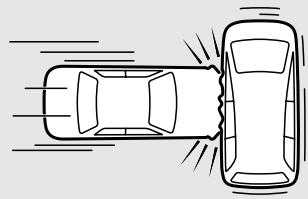
SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。

また、一度作動したSRSエアバッグは、2回目以降の衝突では再作動しません。

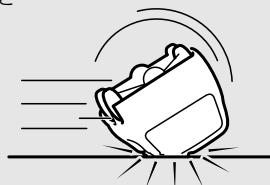
追突されたとき



側面から衝突されたとき



横転、転覆したとき

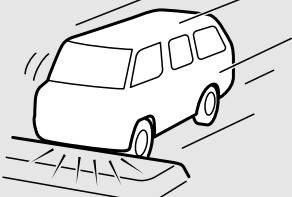


AAL000219

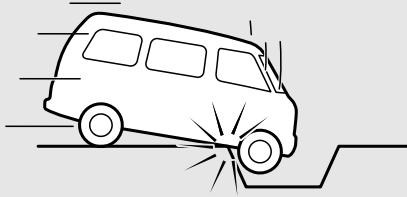
## ◆ 作動することがあるとき

走行中、車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

中央分離帯や縁石などに衝突したとき



深い穴や溝に落ちたとき



ジャンプして地面にぶつかったとき



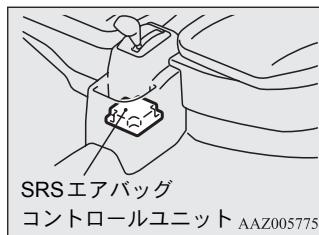
AAL000222

## 取り扱い上の注意

J00507400785

## △ 注意

- ハンドル周り、インストルメントパネル、フロアコンソール付近の修理、カーオーディオなどの取り付け、および車両前部の修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響をおよぼしたり、SRSエアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので、日産販売会社へご相談ください。
- 廃車するときは日産販売会社へご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って、エアバッグの回路診断はしないでください。SRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは、SRSエアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので、無線機などを取り付けるときは、日産販売会社にご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- ステアリングパッドやインストルメントパネル上部などSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど、過度の力を加えないでください。  
SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグコントロールユニットの取り扱いについてはつぎのことをお守りください。取り扱いを誤るとSRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ・SRSエアバッグコントロールユニットの取り外し、分解をしない。
  - ・SRSエアバッグコントロールユニットおよびその周辺に水をかけない。
  - ・SRSエアバッグコントロールユニットおよびその周辺に重い荷物を落としたり、強くけるなど、過度の力を加えない。



## アドバイス

- お車をゆずられるときはSRSエアバッグ装着車であることを説明し、取扱説明書を車についておいてください。

*MEMO*

*MEMO*